

2026 7/14

No.2262

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



半年間の災厄をはらう神事「夏越なごしのおおほらほらの大祓」が6月30日、相模国の三之宮・比々多神社（伊勢原市）で行われ、氏子らが茅の輪をくぐり無病息災などを祈願した。



視点描	
首長代われば街変わる	3
特集	
GIGAスクール構想の 現在地と今後の課題	4
政治双眼鏡	
国民民主の損得勘定 火中の栗を拾う覚悟は？	8
サヘル・ローズ×リアルワールド	
幸せの国の沈黙	9
よんななエコノミー	
難しい野生動物との付き合い方	10
管理職はつらいよ！	
強みを生かせるリーダーが 組織力を高める	11
くらし2026	
障害者就労で 在宅ワーク乱用か	12
かながわTODAY	
6月の主な経済ニュース	14

事務局だより

◇2026年8月定例講演会
8月20日(木)午後1時30分～3時
メルヴェーユ(桜木町駅近く)
講師：国際園芸博覧会協会事務次長 小池 政則氏
演題：GREEN×EXPO 2027 最新情報について

◇2026年9月定例講演会
9月10日(木)午後1時30分～3時
神奈川県民共済13階大会議室(桜木町駅近く)
講師：湘南ベルマーレフットサルクラブ社長 佐藤 伸也氏

◇2026年10月定例講演会
10月26日(月)午後1時30分～3時
県民共済みらいホール(桜木町駅近く)
講師：鉄道作家・ジャーナリスト 森川 天喜氏

【お知らせ】会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

視点 点描



首長代われば街変わる

神奈川県内の現職首長で最年少31歳の町長が誕生した。6月14日の愛川町長選で元町議の茅大夢氏が初当選し、同29日に就任した。茅氏の就任前は三浦市長の出口嘉一氏の44歳が最も若かった。

愛川町は県北部に位置する山あり川ありの自然豊かな人口約3万9千人の町。若い町長の誕生でこれまで町政への関心が低かった町民の

注目が集まることや、町外の人に町が知られるきっかけになることも期待できよう。茅町長自身も「私の存在で町がPRされることは価値がある」と述べ、「最年少効果」を自覚している。

町では少子高齢化や人口減といった地方自治体共通の課題を抱えているのはもちろん、現在、地域のにぎわい創出拠点として半原水源地区

跡地の整備計画が重要事業として進んでいる。民間企業と連携してアウトドア関連施設や飲食・物販店などを整備する計画で、2027年度着工予定で28年秋ごろ供用開始を目指している。着工に向け詳細内容の詰めや、完成後の活用の具休策など茅町長のリーダーシップがさつそく問われよう。

茅町長は町長選でトップセールスによる企業版ふるさと納税の拡充や、町内へのホテル誘致で地域経済の活性化を図ることを掲げた。これらの実現も含め、町の若きリーダーの奮闘に注目したい。

地方自治体の多くは財政難にあっていいる。しかし、首長次第で自治体の予算の使い道や方向性に差が出る。県内でも首長が先頭に立ち中学校給食の導入や待機児童ゼロの達成など掲げた公約を矢継ぎ早に実現したケースがある。観光やスポーツに関する施策を推進して

街ににぎわいや活気を生み出そうとする首長もいる。首長が代われば、自治体の行方は変わる。

一方、首長としての自覚や資質を疑いたくなる事案が各地で相次ぐ。学歴詐称疑惑の前静岡県伊東市長や、既婚の男性職員とホテルでの打ち合わせが問題となった群馬県前橋市長らのケースでは出直し選まで実施された。行政運営の停滞を招くだけでなく、住民の行政や地方政治への不信感が高まることにつながりかねない。有権者の負託を受けた首長の責任は極めて重い。

県内では年内に中井町や茅ヶ崎市、二宮町などで首長選が続く。来年4月には県民全体にかかわる知事選を含む4年に一度の統一地方選が控える。有権者には街の未来を変えうる首長の資質を見極める力が問われている。

（神奈川県新聞社統合編集局地域報道統括部長・鈴木 昌紹）